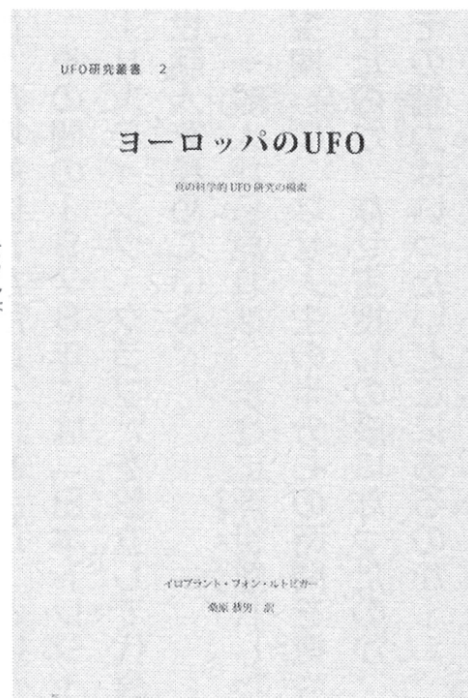


UFO搭乗者はタイムトラベラーだった!? 機器での観測に重点を置いた科学的研究!

ヨーロッパのUFO

▼イロプラント・フォン・ルトビガー著



「UFO研究叢書」シリーズの第2巻。

30年以上にわたって中欧の科学的UFO研究を牽引してきたドイツ人科学者が、長年にわたる研究成果をまとめたもので、次の11章からなる。

過去のUFO事例／様々なUFOの形状／三角形のUFO／同一形状のUFO／UFOの着陸・搭乗者目撃事例／UFOが残した金属片／UFOの証拠となる写真／リーダーが捕捉したUFO／高感度磁場検出器／UFOが人間に及ぼす影響／UFOの起源

その内容はノストラダムスが記した16世紀のUFOをはじめ、第2次世界大戦中に米独軍用機が遭遇したフーファイター、ドイツの円盤型飛翔体の開発、ドイツの未確認飛行物体調査機関U13の存在、フラン

スのUFOフラップ、ベルギーの三角形UFOフラップ、ドイツで発生したアブダクションとMIB事例、スウェーデンでUFOが残した金属片の科学分析、複数のビデオとカメラで撮影されたバルト海上空の異常光体群、スイス空軍管制レーダーシステムが捉えた膨大なUFOの航跡……など多岐にわたっており、興味は尽きない。

日本で初めて紹介される事件も多いが、いたずらにセンセーションを煽るものではない。学術的論考といった色彩が濃く、詳細かつ信頼できる資料が提供された有用な一冊だ。カラー図絵18ページ。へ桑原恭男訳／ブイッソーリクション発行／星雲社発売／3990円(税込)〈



↑1971年、オーストリアの上空で撮影されたUFO。円盤状の形がはっきりわかる。